

このマンガを、児童・生徒へ読ませたい学校を募集しています！



生きる力をはぐくむ防災教育の「副読本」としてお勧めします

東日本大震災を千葉県浦安市で経験したマンガ家世鳥アスカさんが自身の被災体験を描いたエッセイコミックス

1. 特定できる個人の自宅での避難生活体験記である
2. プロが描いたマンガである
3. 発災直前から断水解除後までの30日間のドラマである

災害に適切に対応する能力の基礎を培う
＝生きる力をはぐくむ防災教育につながります。

マンガの詳しい内容は裏面、およびコチラからご覧頂けます。



マンガで読む「語り部」

停電と液状化と断水の自宅生活体験記

『明日、地震がやってくる!』 学校図書室 寄贈プロジェクト

ご応募頂いた学校へ1校1冊ずつ無償(送料含む)で寄贈いたします。

※応募が既定数に達した時点で終了いたします。

後援：愛知県教育委員会

【応募条件】

- 日本国内に所在する学校(小・中・高・大・専門、その他支援学校、児童館なども含む)であること
- 貸出を行う図書室があること
- 主旨に賛同し、児童、生徒に「このマンガを読ませたい」と思っていること
- 児童、生徒に対し、マンガの価値を伝え、継続的に勧め続けていただけること



下記にご記入の上、FAX(0566-48-4091)にてお送り下さい。WEBでのお申込はこちら

貴校(施設)名			
ご担当者名			
ご住所			
電話番号			
応募の公表	協力してよい	協力しない	詳しく聞きたい

※「応募の公表」とは 本プロジェクトには資金支援を含む協力者、支援者が多数おります。支援希望者に対しWEBサイトにて「受贈希望校」として学校名を掲載させて頂くご協力をお願いしております。

上記、応募条件を満たし、マンガ『明日、地震がやってくる!』の受贈を希望します。

月 日 氏名



チーム・トイレの自由とは

災害時トイレ問題の解決を目指し、携帯トイレの普及啓発を行う任意団体。2016年11月5日設立。携帯トイレトレーニング体験者数は全国で1万6千人を超える。平成29、30年年度名古屋市港防災センター企画展『トイレっとぼうさい展』監修。NHK名古屋放送局『まるっと!』『おはよう東海』出演。名古屋テレビ『池上彰と考える! 巨大自然災害から命を守れ』制作協力。

プロジェクト実施の経緯

生きる力をはぐくむ防災教育の副読本として本作品を推奨しています。全国の児童、生徒に本作品に触れ、主体的に考えるきっかけにして欲しいとの願いから図書室への受贈を企画いたしました。単年ではなく継続的に子どもたちの手に取っていただけるよう受贈をご希望いただければ幸いです。

私、推薦します!!

「今、自分が住んでいる場所で災害が起こったら？」をイメージできる具体的なツールがほしいなあ...と思っていた時にこの本と出会いました。ライフラインが止まった後の自宅での生活を、具体的かつ赤裸々にレポートしてくださっています。文字ではなかなか伝わりにくい話も、わかりやすいマンガなので、瞬時に自分事として捉えることができます。今後も親子防災講座の中で紹介させていただきます。素敵な本をつくってくださり、ありがとうございます。日本に住む、全ての方に読んでいただきたい名著です。(辻由起子さん 大阪府茨木市)

水が、使えない。ふだんの暮らしから想像できませんが、読み進めていくうちに、昨年の夏の大型台風の停電のときを思い出しました。我が家の地域は、半日ですみましたが、それでもライフラインが、少しの間でもストップするととても不安になりました。自助、共助、公助の大切さを改めて思い起こさせてくれた1冊でした。(伊藤三奈子さん 岐阜県本巣市)

「やっと出会えた／子ども達に「液状化って大変なことなんだよ〜」って伝えにくかったけれど、これこそ求めていたもの!!!!!! (荒木歩さん 愛知県岡崎市)

この本の魅力は「絶妙なバランス」にある。重いテーマになりがちな「被災ドキュメント」でありながら、要所に出現し「クッソ」とさせてくれる「ボケ」の数々。漫画である事を差し引いても、絵から情報が飛び込み、容易に1冊を読み終える事ができる。(ここ大事!)しかし、中身は濃く、多岐にわたり、間違いなく「1級の防災本」である。(高桑俊康さん 愛知県豊田市)

このマンガ、とっても素敵なんです。子どもたちに読んでほしい。マンガだから読みやすい。「あ?災害が起こると、こんなことに困るんだ!?じゃあ今のうちに用意しておこう!」と考え、行動できる。被災した方にはじっくりとは聞きにくいことが、この本にはたっぷり描かれている。だから役立つ。教員として、子どもたちの手の届くところにこの本を置いておきたい。子どもたちが家族と一緒に災害に備える活動をしてもらいたい。この本を読んだことにより、災害時にとっさに判断することも可能になると思います。一度知った知恵は今後の生活で生きるはずです。是非この本がより多くの人の手に届きますように。(蒲郡市立大塚小学校教諭 市川真基さん)